

コキアの郷づくり事業について

1 コキアが上手く育たなかった要因及び改善

大きな要因は、土づくりが不足していたため、苗木植栽後にコキアが大きく育たなかった。そこで、改善策を次のとおりまとめる。

(1) 苗木づくりについて

- 苗木の個体差
 - ・土及び肥料の量、育成に適した場所など育成方法に違いが生じるため、統一的に育成が出来るようマニュアルを更新する。
 - ・苗木がより大きく育つためには、育苗ポットにしっかりと根を張る必要があるため、一回り大きい育苗ポットを配布する。

(2) 植栽（地植）について

- 土壌づくり
 - ・不足する養分などを把握するため専門家による土壌診断をし、排水性及び保水性が良く、土の中に適度に酸素が必要であるため、腐葉土や堆肥等を混ぜ土壌改良を実施する。
 - ・堆肥については、足柄上衛生組合から無償で供給してもらうことで調整済みです。

- 肥料の散布
 - ・元肥として緩効性肥料を散布しコキアの成長具合に応じ追肥を行う。

- 農薬の散布
 - ・ネキリムシ等により根が噛み切られていたことから、発生を抑制するため農薬を散布する。

- 除草シート
 - ・除草シートにより土壌の熱が放出されなかったため、除草シートを最小限に留める。

- 植栽の時期
 - ・苗木が十分に育っていない時期に植栽したものもあり、上手く成長しなかったため、配布を早め育苗ポットである程度育った苗木を植栽する。

- 水不足
 - ・当初、地植以降の水やりは不要と聞いていたが、地植環境で違いが出ることから、こまめな散水に努める。

2 全体スケジュール

	令和6年												令和7年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
土壌づくり															
種・苗の育成															
苗の植栽															
肥料															
開花期															
稲刈り・種採取															
環境保全															
イベント															
サポーター募集															
サポーター活動用品購入															
サポーター活動用品配布															

〈参 考〉

- コキアサポーターの現状
 - ・活動目的
 - コキアの郷の整備、コキアの育成などを町民が主体となり実施し、サポーターの活動を通じてシビックプライド醸成の一助とします。
- ・登録者数
 - 72名（令和6年1月31日現在）
- ・募集方法
 - 町広報紙、メールマガジン、町ホームページ、地方紙、町内各種会議など